

「Interop Tokyo 2018」 「3D & バーチャルリアリティ展」

神谷 直亮

今月は、ネットワークコンピューティングに特化したテクノロジーとビジネスの祭典「Interop Tokyo 2018」と最新の3D・VR技術の専門展「3D & バーチャルリアリティ展」についてレポートする。

「Interop Tokyo 2018」

「Interop Tokyo 2018」（主催：Interop Tokyo 実行委員会）は、6月13日から15日まで千葉市の幕張メッセで開催された。「次のネット社会」をスローガンに掲げた会場は、「Interop Tokyo 2018」の傘の下に「Connected Media Tokyo」「デジタルサイネージ ジャパン (DSJ)」「Location Business Japan」「APPS Japan」の5つのステージで構成されていた。

まず、「Interop Tokyo 2018」と言えば、毎年のように著しい進化を見せる「ShowNet」が挙げられる。今年は、ジュニパー・ネットワークス、NTTコミュニケーションズ、CISCO、ファーウェイの4社がメーンスポンサーになり、80社を超えるその他の企業が協力して展示とデモが実施された。複雑なアーキテクチャーを隅から隅までチェックする時間がなかったが、ジュニパー・ネットワークスは、業界で最高を誇る3Dユニバーサルエッジルーター「MX10008」を、NTTコミュ

ニケーションズは、高速ソフトウェアルーター「Kamuee」を動態展示して脚光を浴びていた。ブースの説明員によれば、「MX10008 ルーターのインターフェイスは200GbpE、Kamueeは100GpEで設定されている」とのことであった。

「Connected Media Tokyo」のステージには、常連の放送事業者に混じってスカパーJSATが初出展した。ブースには、同社が取り扱っているカイメタ社製平面アンテナを搭載した実車と、関連会社として名を連ねるデジコンの中継車が持ち込まれ、来場者の関心を呼んでいた。平面アンテナの売れ行きを聞いて見たら「災害対策用に向いているので、関連省庁や企業などに対し伝送デモを繰り返している最中」とのことであった。パンフレットには、スポーツイベントや音楽イベントにも対応できると謳っていたが、アップリンクの伝送スピードが3Mbpsとのもので売り込みに苦労しているようであった。

「4Kista!」と名付けられたデジコン中継車については、「新しく朋栄製マルチパーパスプロセッサを2式導入し4K HDRに対応できるようにした」と語っていた。車内を見せてもらったら、モニターに札幌市

月寒体育館で撮影したという全日本女子アイスホッケー選手権の躍動する映像が流れていた。説明員によれば、「ケーブル4Kで放送されて非常に好評だった番組」とのことであった。

毎年デジタルメディアの最先端技術を紹介する放送事業者のコーナーには、NHK、日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、フジテレビ、Tokyo MX、radiko、マルチスクリーン型放送研究会が軒を並べていた。日本テレビは、昨年秋に実施した「グラチャンバレー 2017」のマルチアングルライブ配信「4 EYES for Hulu」の展示とデモで注目を集めた。「4 EYES」というのは、「International EYE」「Your EYE」「Net EYE」「Tactical EYE」の4つで、中でも傑作はネット上部の白帯部分に仕込んだ超小型カメラが捉えた「Net EYE」と言える。必死になってスパイクを決める選手の表情が見事に映っていた。

テレビ朝日は、スマートスピーカーとハイブリッドキャスト対応のテレビを連携させたサービスを実演した。ブースの担当者が実際に「Amazon Echo Plus」を使って、番組に登場する商品を購入したり、レストランを予約したりしてみせて実行力を強調していた。

IPサイマルラジオを提供するradikoもAIスピーカーを活用する事例を紹介した。「Amazon Echo」や「Google Home」などほとんどのスマートスピーカーの音声UIをサポートしているという。

「DSJ」のステージでは、シャープ、BOEジャパン、ピーディーシー、ブリッジリンク、パナソニック、ソニーなどが華やかな映像で競演して来場者の目を引いた。

シャープは、280インチマルチディスプレイをブースの正面に設置して多彩な8Kコンテンツをアピールした。ステージの裾にカメラ記録部一体型8Kカムコーダー



写真1 日本テレビは、「グラチャンバレー 2017」のマルチアングルライブ配信「4 EYES for Hulu」のデモで注目を集めた。



写真2 テレビ朝日は、Amazon Echo Plusを使って、番組に登場する商品を購入するデモを実施して関心を呼んだ。



写真3 ブリッジリンクは、高さ4メートル、横20メートルの全天候型LEDディスプレイを出展して来場者を魅了した。



写真4 クリーク・アンド・リバーは、高画質スタンドアロン型の「IDEALENS K3」を秋から発売を開始するとの発表を行った。



写真5 日本バイナリーは、「VRHero」と名付けた5K HMDを紹介して注目的になった。

「8C-B60A」を展示して、「8Kコンテンツの制作、ライブ配信にも力をいれている」と語っていた。

BOE ジャパンは、16面マルチディスプレイで8K映像を再生して見せながら、「8K放送のない世界中の人にBOEクラウドから8Kの感動を伝えられる」という8Kデコードプレイヤーの売り込みに余念がなかった。

ピーディーシーも8Kコンテンツクラウド配信システム「AFFICER」を出展してデモを繰り返していた。デコードプレイヤーはソシオネクスト製で、画面は55インチ4Kテレビを4面組み合わせたものであった。

ブリッジリンクは、高さ4メートル、横20メートルの全天候型LEDディスプレイを出展して来場者の目を引いた。ブースの担当者によれば、「3.9mmピッチのBL-OD3.9パネルを320枚組み合わせている」とのことであった。

パナソニックは、今年の夏に発売を予定しているというレーザー光源プロジェクター「RZ21KJ」（21000ルーメン）実機による投射デモを実施して来場者を魅了した。

変わったところでは、英国のKinomoが「HyperVSN」、Takenakaが「HACOBUNE」の実演を行って来場者を引き付けていた。

「HyperVSN」は、画期的なホログラム技術を用いたディスプレイシステムである。秘密は、LED光源を搭載した4本のブレードを高速で回転させて、高解像度の浮遊するホログラムを投影する技術と言える。回転速度を聞いて見たら「650rpm」との回答であった。

「HACOBUNE」は、その名称が示唆す

るように高精細カーブLEDディスプレイに囲まれた空間で様々なセンシング方法によるインタラクティブを楽しめる。今回は、壁面だけでなく床面も使ってフルに体験できるように設営されていた。

「Location Business Japan」のステージでは、測位衛星技術が、同社の目玉である「GEM」シリーズの受信機を5種類ブースに並べて熱心に売り込んでいた。中でも「GEM-1」は、マルチ衛星による測位結果をロギングできる機種で、対応できる衛星として、アメリカのGPS、ロシアのGLONASS、ヨーロッパのGalileo、中国のBeidou、日本のQZSSに加えて、SBAS（アメリカ、ヨーロッパ、日本の補強衛星群）を挙げていた。

「3D & バーチャルリアリティ展」

第26回「3D & バーチャルリアリティ展」（主催：リード エグジビション ジャパン）は、6月20日から22日まで、東京ビッグサイトで開催された。本展示会では、クリーク・アンド・リバー、日本バイナリー、ビーライズ（BERISE）が、最新のヘッドマウントディスプレイ（HMD）を使った体験デモを行って会場を盛り上げていた。

クリーク・アンド・リバーは、高画質ハイスペックでスタンドアロン型の「IDEALENS K3」を出展して、今年の秋から発売を開始すると意気

込んでいた。ハイスペックの意味を聞いてみたところ「解像度は各眼2.5Kで、リフレッシュレートは90Hz、視野角120度、microSDカードで最大128GBまで対応できる」との回答であった。

日本バイナリーは、チェコのVRGINEERS製で、「VRHero」と名付けたHMDを紹介して、「解像度は、両目合わせて5K、視野角150～170度を実現している。価格は、180万円」と語っていた。すでにBMW、Opel、Audiなどヨーロッパの自動車業界で導入されているという。

ビーライズは、今年の秋に発売するという台湾製の「STARVR」を披露した。Star Briesと台湾のAcerのジョイントベンチャーが製作するHMDで「解像度は両目合わせて5K、水平視野角210度」とPRに余念がなかった。ブースの担当者は、「セガが非常に興味を持っている」とささやいていた。上述した3製品の他に、「HTC VIVE Pro」と「Oculus Go」も注目を集めた。

Naoakira Kamiya
衛星システム総研 代表
メディア・ジャーナリスト

SWE DISH

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員
1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m以下（地下駐車場可）
3.6 KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ポール4m 搭載
強化サスペンション
国内（100V）海外（240V）対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション

SMART SNG
HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE EGO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizsat.jp>

設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125